



Mitsui Chemicals

三井化学株式会社

〒105-7117 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター <http://www.mitsui-chem.co.jp/>

2008年8月18日

各 位

三井化学株式会社

非可食資源からの有用化学品製造技術の開発に関する共同研究の開始

三井化学株式会社(社長:藤吉建二)は、シンガポール科学技術研究庁(A*STAR、長官:Lim Chuan Poh)との間で、「シンガポールから獲得した微生物を活用した化学品製造の為の生体触媒開発」において共同研究を行うべく、現在、契約の締結に向けて最終調整を行っております。本共同研究は、A*STARの化学工学研究所(ICES)と、三井化学アジアパシフィック技術センターで行う3件目の共同研究テーマとなります。

原油価格の高騰および地球温暖化抑止の観点から、木質材料等の非可食バイオマスから有用化学品を製造する技術の開発は極めて重要であり、その中心技術である高性能生体触媒の開発が強く求められております。このような背景の中、三井化学は、得意とする遺伝子組換え技術を駆使することで生体触媒開発を進めております。ICESは生物資源豊富な東南アジアに位置しており、シンガポールに生息する微生物資源を探索し、化学品製造へ展開する技術を有しております。本共同研究において両者の技術によるシナジーを活かし、非可食バイオマスからアルコール類、フェノール類等の化学品を製造する生体触媒開発を目指します。

以 上

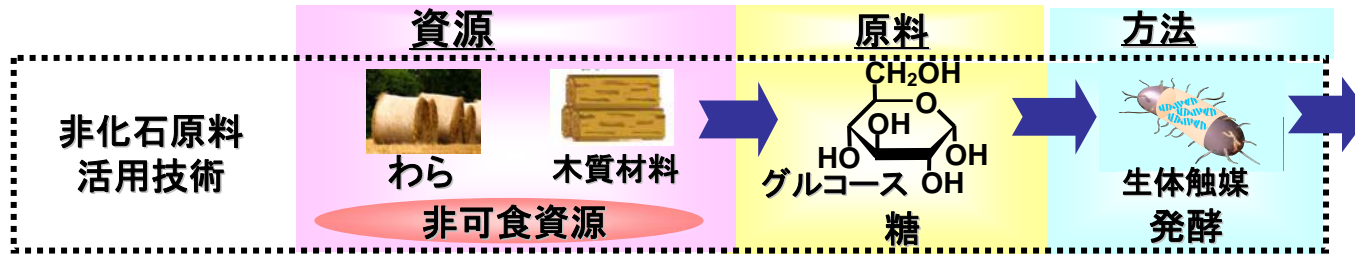
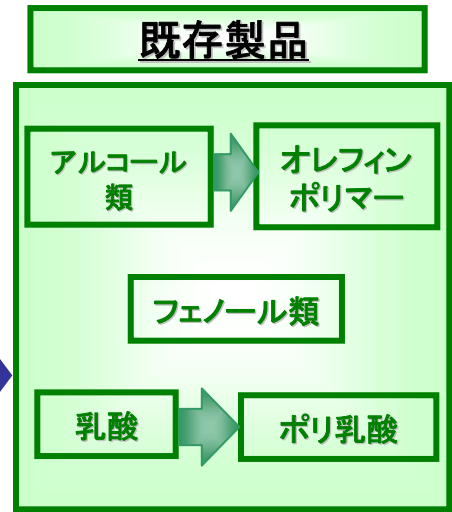
本件に関するお問い合わせ先

三井化学株式会社 CSR・広報部 03-6253-2100

非可食資源からの有用化学品製造技術の開発に関する共同研究の開始


三井化学の基本方針

- 原料転換技術の開発
- 非可食資源の活用



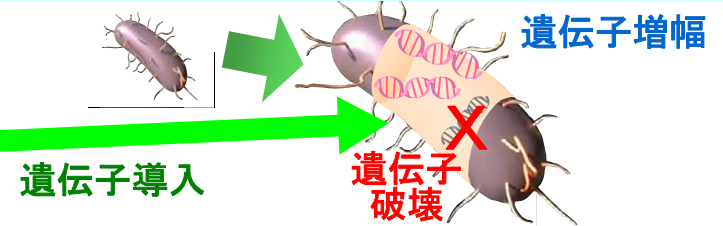
ICES & 三井化学 共同研究

ICES (A★STAR) 

三井化学 

(強み) 微生物探索技術

(強み) 遺伝子操作技術



シナジー効果を生かす

非可食資源から有用化学品を製造する生体触媒の開発